



おおつぎ

平成30年7月 豪雨災害特別号



主な内容



- 災害特集号発行にあたって・町民の皆さまへ……………2
- 災害から40日―被害の現状……………3
- ご支援ご協力のお礼について……………6

発行：大月町(☎0880-73-1181 ☎0880-73-1733)
編集：大月町広報編集委員会

災害特集号発行にあたって

現在本町では平成30年7月豪雨災害の復旧・復興への取り組みを全力で進めているところです。災害発生から40日を経過した8月下旬に被害のあった地区取材しました。現在の復旧状況についてお知らせすると共に、災害の記録を心に留め、今後も予測される災害へ備え、防災意識向上を図ることを目的として、災害特別号というかたちで本誌を発行することとしました。

町民の皆さまへ

このたびの平成30年7月豪雨で犠牲になられた方々とご遺族の皆さまに、深くお悔み申し上げますとともに、被災されました皆さまに心からお見舞い申し上げます。

また、救援・救護活動等に懸命に取り組んでいただきました町民の皆さまに、心より感謝申し上げます。

7月8日の記録的な集中豪雨の影響により、本町では甚大な被害が発生しました。発災直後より、24時間体制での被害状況の収集や救援・救済活動、防疫活動にあたり、物資の配送・災害ごみの収集などの復旧作業に全力で取り組んでまいりましたが、この豪雨災害による爪痕は深く、いまだに生活に支障をきたしているところも多くあります。

現在では、この災害復旧を町政の最優先課題と位置付け、全力で復旧・復興に取り組んでいるところでございます。具体的な復旧状況としては、本町の主要な水源

地であります牛の池田ため池が被害を受けたことで、弘見地区の水道水が濁った状態が続き、その対応として、長沢の浄水場へ新たにろ過機を設置してきれいな水を供給できる状況に復旧いたしました。また、道路の崩壊により、半孤立状態となった龍ヶ迫地区では、公共バスの乗り入れが困難となった地域があり、対応策として、現在タクシーの乗り入れを開始して対応しております。

また、その他に災証明の発行を行い、生活の立て直しに役立てていただくための資金貸付支援や減免申請の受付を行っており、損壊した道路や河川等のインフラの復旧にも全力で取り組んでおります。

町民の皆さまには、大変ご不便をお掛けしてまいります。今後も引き続き一日も早い復旧・復興に全力で取り組んでまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

大月町長 岡田 順一

災害経過状況(時系列)

7月6日(金)

21時40分 気象台発表 大雨警報(浸水害)

7月7日(土)

9時7分 気象台発表 大雨警報(土砂災害)・洪水警報

16時29分 大雨警報(浸水害)・洪水警報解除 ※大雨警報(土砂災害)は継続

7月8日(日)

4時18分 気象台発表 大雨警報(浸水害)・洪水警報

4時55分 災害対策本部 設置

5時30分 避難勧告発令(大雨および土砂災害警戒情報) 避難所開設：農村環境改善センター

5時50分 気象台発表 大雨特別警報(土砂災害・浸水害)

14時50分 気象台発表 大雨特別警報(土砂・浸水)解除

17時35分 高知県 気象台共同発表 土砂災害警戒情報解除

7月9日(月)

3時26分 気象台発表 大雨警報(土砂災害)解除

5時00分 避難勧告解除 災害対策本部 解除・解散

泊浦地区

地区長コメント

災害当日は、猛烈な雨が降り続き、庭先が川のようになった家庭が多くありました。私自身も身の危険を感じて家の2階へ避難したほどで、今回ほど雨の恐ろしさを痛感したことはありません。住民の方の中には、恐怖を感じトラウマになっている方も多くおります。今後の災害に備え、河川整備等を徹底していくよう各関係機関の皆さまにはご協力いただきますことをお願い申し上げます。



8月21日時点



災害発生当日



8月21日時点



災害発生当日

河川が氾濫し、河川付近の壁面が崩れるほどの被害が発生。現在は土のうによる補強が行われ、二次被害の対処が進められている。

災害から40日！
被害の現状

柏島地区

地区長コメント

今回の災害では、柏島を結ぶ道路での岩石の崩落や島内での道路の陥没などの被害を受け、交通の便や観光客にも大きな影響が出ました。自衛隊の方には岩石の除去作業を懸命に行ってもらい、一般ボランティアの方にも多大なご協力を賜りました。現在では、被災箇所も復旧しておりますが、今後起こりうる災害に備え、地区としても対応してまいります。



8月21日時点



災害発生当日

白浜付近の道路に岩石が崩落。自衛隊により岩石は粉碎され、片側通行ではあるものの通行可能となっている。

龍ヶ迫地区

地区長コメント

今回の豪雨災害の影響により、崖崩れが数か所で発生して道路が陥没し、一部集落が孤立してしまいました。そのため、バスの通行が困難となり、通院や買い物で移動する方に支障が出ましたが、現在はタクシーを乗り入れて対応していただいております。今回の災害で孤立してしまう恐ろしさを痛感し、今後起こりうる災害に備えるため、危険崩落箇所を把握して対応を行ってまいります。



8月21日時点



災害発生翌日

住居地区付近の道路が崩落。現在も通行止めとなっており、復旧には長期を要する。

橋浦地区

地区長コメント

このたびは、自衛隊やボランティアを始め多くの皆さま方から力強いご支援をいただきました。感謝とともに心からお礼を申し上げます。誠にありがとうございました。

私たちは、この惨禍を後世に活かすため、被災者を対象に二夜にわたって協議会を開き、一日も早い復旧と災害に強い地域づくりに向けて町へ要望を提出したところです。

今後も、早期復旧に向けて更に一層のご尽力を賜りますようお願い申し上げます。



8月21日時点



災害発生当日



8月21日時点



災害発生当日



8月21日時点



災害発生当日

河川が氾濫し住居区域に浸水、床上・床下浸水を及ぼすほどの被害が発生。

また、土砂崩れも発生し、住居に土砂が入り込む被害が発生した家屋もある。

現状は泥や土砂、災害ゴミの撤去が済み、落ち着いたかのように見えるが、災害被害の爪痕が深く残っており、早期復旧が望まれる。

平山地区

地区長コメント



8月21日時点



災害発生当日

河川の氾濫により路面崩壊したが、現在は修復済みとなっている。

災害当日の未明に雨量・河川の増水具合の確認を行ったところ、平成13年9月6日に発生した西南豪雨災害時よりすさまじく、危機感を感じました。本地区では犠牲者が出なかったことに対して安堵しておりますが、今回の災害を教訓にして、今後の自然災害・近く起こるといわれている南海トラフ地震に備え、地区の防災体制の強化を図り、災害時に迅速な対応がとれるようにしてまいります。

頭集地区



地区長コメント

被害としては、県道の崩落や家屋の浸水、農業被害等がみられました。特に農業被害が多く発生し、倉庫やトラクターが流され、農地にも被害が及びました。当日は短時間に大量の雨が降って河川の水量が急激に増大し、非常に恐怖を感じました。あと1時間長く降り続けていたらもっと被害が拡大していたと思います。今後は、地区で連絡網を作成するなど避難体制の確立を図ってまいります。

河川氾濫によりえぐられるように路面が崩壊し、ガードレールが自重に耐えられず、崩落している。現在も片側通行となっている。

安満地地区

地区長コメント

今回の災害により、家屋の浸水被害や土砂崩れが多く、箇所が発生しましたが、幸いなことに犠牲者は出ませんでした。それには、地域住民の方がいち早く高台や避難所へ避難するなど、自主的に避難行動をとられましたことも関係していると感じます。今後も継続的に地区で避難訓練を行い、防災の弱点を把握するなどして地区の防災力強化に努めてまいります。



平安トンネル付近も土砂の流入があったが、現在は取り除かれている。橘浦地区へと繋がる町道が法面崩壊のため、現在も通行止めとなっている。

一切地区



地区長コメント

本地区では、住宅の浸水被害や崖崩れ、断水などの被害がありました。断水によって、地区で備蓄をしている水を全て使い切り、あらためて水の大切さを認識しました。今後は備蓄をより充実したものにしていきたいと思えます。住民の方の中には、現在も被災して別の場所での生活を余儀なくされている方もおります。地区の要望として、住宅に対する手厚い支援をしていただけることを望みます。

安満地地区へと繋がる町道が土砂で崩落し、現在も通行止めとなっている。

三山ひろし被災地応援ミニライブ開催

8月17日、農村環境改善センターにおいて、歌手の三山ひろしさんによる被災地応援ミニライブが開催されました。当日は本町以外に、四万十町、四万十市でもミニライブが行われ、3カ所の募金とCDの売上金の総額1,356,401円の寄附をいただきました。本町では約500人の方が会場に詰めかけ、三山さんの明るく爽やかで力強い歌声に聞き入りました。

ミニライブ終了後はCD即売会が開かれ、三山さんは購入していただいた方一人ひとりと握手をし、これからの復興に向けた温かい言葉をかけられていました。三山さんの親切なご厚意に感謝をいたしますとともに、ご支援賜りました寄附金につきましては今後の復旧・復興に役立てていきます。



ご支援いただき、ありがとうございます

災害発生から7月30日まで、多くの方に災害ボランティアとして、復旧作業にご助力いただきました。

また、たくさんの物資支援・ご寄附をいただきましたこと、心からお礼申し上げます。



市町村別ボランティア人数

大月町	100人	佐川町	6人
宿毛市	181人	香美市	3人
高知市	167人	仁淀川町	2人
四万十市	117人	香南市	2人
土佐清水市	50人	安田町	2人
黒潮町	26人	日高村	1人
中土佐町	25人	安芸市	1人
三原村	21人	土佐市	1人
須崎市	11人	越知町	1人
南国市	13人	芸西村	1人
いの町	10人		
四万十町	8人	県外	12人

計 761人

公共団体のご支援

陸上自衛隊／国土交通省／農林水産省／高知県／宿毛市／四万十市／黒潮町／三原村／土佐清水市／四万十町／高知市／幡多西部消防組合／高知県警

民間団体等のご支援

大月町建設協会／日本赤十字社／ネットヨタ／(株)ぎょうせい／まあいお月さん／第一生命／大和タオル／高知市薮野中組防災会／朝日生命大月出張所／(株)高知電子計算センター／高知県飲食観光事業協会／土佐清水市民協／土佐町社協／三原村社協／大塚製薬／すくも湾漁協古満目支所／中村青年会議所／土佐清水市社協／高知県西部NPO支援ネットワーク／宿毛青年会議所／日本生命宿毛営業所／(財)大月町ふるさと振興公社／日本青年会議所高知ブロック協議会／高知市社協／日本生命／トヨタカローラ高知フィッシングクラブ／中澤氏家業(株)／幡多法人会／エール薬局(順不同、敬称略)

そのほか多くの皆さまからも義援金等のご寄附・物資等のご支援をいただいております。心より感謝いたします。

支援制度

広報おつき8月号に掲載させていただきました、被災された方を対象とした各種支援制度は引き続き、役場にて受け付けております。

いずれも期限がありますので、ご確認の上、一度ご相談ください。

「災害援護資金貸付」に関して、申請期限の記載が漏れておりました。

申請期限は10月31日(水)までです。